

UCAB オエステ・ブックフェアでの昔話朗読会実施(11月27日(火)、30日(金))

11月26日(月)～12月2日(日)、アンドレス・ベージョ・カトリック大学(UCAB)で開催されたUCAB オエステ・ブックフェアにおいて、11月27日(火)と30日(金)の二日間、外国語発展センター(CDLE)の招待により、在ベネズエラ日本大使館主催で昔話の朗読会が実施されました。

読み聞かせは、カルロス・ギジェルモ・プラサ・カルチャーセンターのアレハンドラ・サントナ氏が担当し、『宝珠の玉』、『侍と三匹の猫』、『鶴の恩返し』、『花咲かじいさん』が読まれました。参加した児童及び学生は日本の昔話に接し、社会や時代を超えて、変わらない価値観を読み取ったようでした。例えば、約束を守ること、いま生きていることへの感謝の気持ち、見た目で差別しないこと、弱者に対する優しさや慎ましさといった現代社会でより重要視される事柄を朗読を通して再認識したようです。

日本国大使館は、引き続き UCAB 等の文化交流を促進する組織・研究所とのさらなる文化協力を推進していくとともに、日本文化を、ベネズエラ人に届けるために尽力していきます。

